

# 構造委員会「小委員会委員」公募（その1）

構造委員会では、下記の小委員会委員を公募します。参加を希望される会員は募集要領に従い  
ふるってご応募ください。

## ■募集要領

下記（1）（2）を作成のうえ E-mail にてご提出ください。

（1）希望の委員会名

（2）応募者について

①会員番号、氏名、年齢、所属・職位、連絡先住所、同電話、E-mail アドレス、専門分野

②現在、本会で所属している委員会の有無、応募中の委員会の有無（有の場合は委員会名  
を記すこと）

③希望委員会で果たせる役割

④希望委員会に関連する業績

**委員任期** 承認日～2015年3月

**応募締切** 2013年4月1日（月）必着

**採 否** 委員会で決定のうえ本人に通知します。

**提出先** 事務局研究事業 G 伏見 E-mail : [fushimi@aij.or.jp](mailto:fushimi@aij.or.jp)

## ●構造設計・解析の最適化理論応用小委員会 [応用力学運営委員会]

**主査／幹事** : 主査 高田豊文 (滋賀県立大学)

幹事 澤田樹一郎 (鹿児島大学)

**募集人数** : 2名

**設置期間** : 2013年4月～2016年3月

**活動目的** : 最適化技術の建築分野への応用に対する期待は高い。本小委員会では、最適化理論  
を用いた最新の構造設計手法・解析手法、および構造最適化手法の実務設計への応  
用事例について調査研究を行うことを目的とする。

## ●大振幅予測地震動に対する耐震設計法検討小委員会 [振動運営委員会]

**主査／幹事** : 主査 壇 一男 (清水建設)

幹事 石原 直 (建築研究所)・大西良広 (京都大学)

**募集人数** : 3名

**設置期間** : 2013年4月～2017年3月

**活動目的** : 今後予想される南海トラフ巨大地震や上町断層地震による大振幅地震動に対し、地  
震動の強さを評価できる地震動指標と建物の終局耐震性能を評価できる応答指標  
を改めて評価し、従来の耐震設計法の見直しを検討する。

## ●地盤基礎系振動小委員会 [振動運営委員会]

**主査／幹事** : 主査 護雅史 (名古屋大学)

幹事 藤森健史 (大林組)・新井 洋 (国土技術政策総合研究所)

**募集人数** : 2名

**設置期間** : 2013年4月～2017年3月

**活動目的** : 建物の性能設計を目指すには、地盤増幅・動的相互作用効果に着目した巨大地震に  
対する応答評価および健全性評価に関する研究が必要不可欠であり、基礎構造を含  
む建物の耐震設計の合理化と精緻化につなげていく。

### ●免震構造小委員会 [振動運営委員会]

**主査／幹事** : 主査 菊地 優 (北海道大学)  
幹事 小林正人 (明治大学)・近藤明洋 (鹿島建設)

**募集人数** : 2名

**設置期間** : 2013年4月～2017年3月

**活動目的** : 南海トラフ地震などの巨大地震への対応を主眼に、課題入力に対する極限挙動のとりえ方、要求性能、設計方法、新たな免震構造の形態について再考し、免震構造に関する最新の研究成果を集約して社会に発信する。

### ●期限付き建築物構造性能小委員会 [仮設構造運営委員会]

**主査／幹事** : 主査 辻 聖晃 (京都大学)  
幹事 木村 麗 (建材試験センター)

**募集人数** : 3名

**設置期間** : 2013年4月～2017年3月

**活動目的** : 期限付き建築物とは、持続可能な社会の構築に向けた新たな設計思想に基づくものである。『期限付き建築物設計指針』(2013年4月刊行予定)をもとに検討を行い、内容を深化させ、期限付き建築物のメリットを活かした、より合理的な設計体系を構築することを目的とする。